

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

協議会名: 山梨県地域公共交通協議会

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域間幹線系統)

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
山梨交通(株) 「甲府駅～野牛島～御刹使」	「甲府駅～野牛島～御刹使」を運行	結果集約の分析、需要動向や事業の実施状況の把握を指摘されたことを受け、バス利用促進を図るために、バス事業者、市町村、県が参加する区域ごとの地域バス検討会を開催し、関係者間の意見交換や地域ニーズの把握に努めた。また、把握した地域ニーズに合致したバス路線経路、ダイヤ、利用環境の改善に努め、地域の関係者間の連携を図り、利便性の向上に努めた。	A 計画どおり事業は適切に実施された。 ※12/30～1/3年末年始の効率性を目的とした運休を除く	A 1%以上の収支率改善が図られた。 (収支率 R5 54.6% → R7 66.4%) (経常収入 R5: 10,181千円→R7: 12,931千円)	引き続き安心した利用環境の構築を図り、生産性向上に向けた取組み(オープンデータ、バスマップ・時刻表の作成、ICカードの利用促進、バスの出前事業等)を継続的に行なう。 地域住民へは鉄道駅(甲府駅)や学校(甲府西高校)、観光者へは観光施設(県立美術館)へアクセス出来る利便性が高い路線であることを周知していく。
山梨交通(株) 「敷島団地～伊勢町～小瀬スポーツ公園」 (令和3年度及び令和4年度購入) 車両減価償却費等国庫補助適用	「敷島団地～伊勢町～小瀬スポーツ公園」を運行	結果集約の分析、需要動向や事業の実施状況の把握を指摘されたことを受け、バス利用促進を図るために、バス事業者、市町村、県が参加する区域ごとの地域バス検討会を開催し、関係者間の意見交換や地域ニーズの把握に努めた。また、把握した地域ニーズに合致したバス路線経路、ダイヤ、利用環境の改善に努め、地域の関係者間の連携を図り、利便性の向上に努めた。	A 計画どおり事業は適切に実施された。 ※12/30～1/3年末年始の効率性を目的とした運休を除く	A 1%以上の収支率改善が図られた。 (収支率 R5 74.7% → R7 76.5%) (経常収入 R4: 12,529千円→R6: 17,255千円)	引き続き安心した利用環境の構築を図り、生産性向上に向けた取組み(オープンデータ、バスマップ・時刻表の作成、ICカードの利用促進、バスの出前事業等)を継続的に行なう。 地域住民へは鉄道駅(甲府駅)や学校(県立大学・甲府南高校・甲府商業高校)、山梨県民・観光者へは様々なイベント等が開催される小瀬スポーツ公園へアクセス出来る利便性が高い路線であることを周知していく。
山梨交通(株) 「敷島団地～昭和バイパス～山梨医大病院」 (令和3年度及び令和4年度購入) 車両減価償却費等国庫補助適用	「敷島団地～昭和バイパス～山梨医大病院」を運行	結果集約の分析、需要動向や事業の実施状況の把握を指摘されたことを受け、バス利用促進を図るために、バス事業者、市町村、県が参加する区域ごとの地域バス検討会を開催し、関係者間の意見交換や地域ニーズの把握に努めた。また、把握した地域ニーズに合致したバス路線経路、ダイヤ、利用環境の改善に努め、地域の関係者間の連携を図り、利便性の向上に努めた。	A 計画どおり事業は適切に実施された。 ※12/30～1/3年末年始の効率性を目的とした運休を除く	A 1%以上の収支率改善が図られた。 (収支率 R5 72.7% → R7 90.1%) (経常収入 R5: 20,212千円→R7: 26,147千円)	引き続き安心した利用環境の構築を図り、生産性向上に向けた取組み(オープンデータ、バスマップ・時刻表の作成、ICカードの利用促進、バスの出前事業等)を継続的に行なう。 地域住民・県民へ鉄道駅(甲府駅)や学校(附属小学校、甲府第一高校)・ショッピングモール(イオンモール)・病院(山梨医大病院)へアクセス出来る利便性が高い路線であることを周知していく。
山梨交通(株) 「敷島(営)～グリーンライン～昇仙峡滝上」 (令和3年度及び令和4年度購入) 車両減価償却費等国庫補助適用	「敷島(営)～グリーンライン～昇仙峡滝上」を運行	結果集約の分析、需要動向や事業の実施状況の把握を指摘されたことを受け、バス利用促進を図るために、バス事業者、市町村、県が参加する区域ごとの地域バス検討会を開催し、関係者間の意見交換や地域ニーズの把握に努めた。また、把握した地域ニーズに合致したバス路線経路、ダイヤ、利用環境の改善に努め、地域の関係者間の連携を図り、利便性の向上に努めた。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	A 1%以上の収支率改善が図られた。 (収支率 R5 88.0% → R7 99.1%) (経常収入 R5: 39,850千円→R7: 47,047千円)	引き続き安心した利用環境の構築を図り、生産性向上に向けた取組み(オープンデータ、バスマップ・時刻表の作成、ICカードの利用促進、バスの出前事業等)を継続的に行なう。 地域住民・観光者へ学校(附属小学校、甲府第一高校・甲府西高校)や鉄道駅(甲府駅・竜王駅)・観光需要(県立美術館・昇仙峡)へアクセス出来る利便性が高い路線であることを周知していく。

山梨交通(株) 「敷島(営)～竜王駅～昇仙峡口」	「敷島(営)～竜王駅～昇仙峡口」を運行 (令和3年度及び令和4年度購入) 車両減価償却費等国庫補助適用	結果集約の分析、需要動向や事業の実施状況の把握を指摘されたことを受け、バス利用促進を図るため、バス事業者、市町村、県が参加する区域ごとの地域バス検討会を開催し、関係者間の意見交換や地域ニーズの把握に努めた。また、把握した地域ニーズに合致したバス路線経路、ダイヤ、利用環境の改善に努め、地域の関係者間の連携を図り、利便性の向上に努めた。	A 計画どおり事業は適切に実施された。 ※12/30～1/3年末年始の効率性を目的とした運休を除く	A 1%以上の収支率改善が図られた。 (収支率 R5 60.1% → R7 74.6%) (経常収入 R5:19,298千円→R7:25,086千円)	引き続き安心した利用環境の構築を図り、生産性向上に向けた取組み(オープンデータ、バスマップ・時刻表の作成、ICカードの利用促進、バスの出前事業等)を継続的に行なう。 地域住民・観光者へ学校(附属小学校、甲府第一高校・甲府西高校)や鉄道駅(甲府駅・竜王駅)・観光需要(県立美術館・昇仙峡)へアクセスすることが出来る利便性が高い路線であることを周知していく。
山梨交通(株) 「敷島(営)～御所循環～敷島(営)」	「敷島(営)～御所循環～敷島(営)」を運行 (令和3年度及び令和4年度購入) 車両減価償却費等国庫補助適用	結果集約の分析、需要動向や事業の実施状況の把握を指摘されたことを受け、バス利用促進を図るため、バス事業者、市町村、県が参加する区域ごとの地域バス検討会を開催し、関係者間の意見交換や地域ニーズの把握に努めた。また、把握した地域ニーズに合致したバス路線経路、ダイヤ、利用環境の改善に努め、地域の関係者間の連携を図り、利便性の向上に努めた。	A 計画どおり事業は適切に実施された。 ※12/30～1/3年末年始の効率性を目的とした運休を除く	A 1%以上の収支率改善が図られた。 (収支率 R5 56.1% → R7 59.0%) (経常収入 R5:32,216千円→R7:35,287千円)	引き続き安心した利用環境の構築を図り、生産性向上に向けた取組み(オープンデータ、バスマップ・時刻表の作成、ICカードの利用促進、バスの出前事業等)を継続的に行なう。 地域住民へ学校(東海高校・甲府城西高校・笛吹高校・県立大学・山梨英和大学・山梨学院大学等)や鉄道駅(甲府駅・酒折駅・石和温泉駅)へアクセスすることが出来る利便性が高い路線であることを周知していく。
山梨交通(株) 「敷島(営)～山梨英和大学～石和温泉駅」	「敷島(営)～山梨英和大学～石和温泉駅」を運行 (令和3年度及び令和4年度購入) 車両減価償却費等国庫補助適用	結果集約の分析、需要動向や事業の実施状況の把握を指摘されたことを受け、バス利用促進を図るため、バス事業者、市町村、県が参加する区域ごとの地域バス検討会を開催し、関係者間の意見交換や地域ニーズの把握に努めた。また、把握した地域ニーズに合致したバス路線経路、ダイヤ、利用環境の改善に努め、地域の関係者間の連携を図り、利便性の向上に努めた。	A 計画どおり事業は適切に実施された。 ※12/30～1/3年末年始の効率性を目的とした運休を除く	A 1%以上の収支率改善が図られた。 (収支率 R5 57.7% → R7 70.5%) (経常収入 R5:17,979千円→R7:22,925千円)	引き続き安心した利用環境の構築を図り、生産性向上に向けた取組み(オープンデータ、バスマップ・時刻表の作成、ICカードの利用促進、バスの出前事業等)を継続的に行なう。 地域住民へ学校(東海高校・甲府城西高校・県立大学・山梨英和大学・山梨学院大学等)や鉄道駅(甲府駅・酒折駅・石和温泉駅)へアクセスすることが出来る利便性が高い路線であることを周知していく。
山梨交通(株) 「敷島(営)～後屋～山梨医大病院」	「敷島(営)～後屋～山梨医大病院」を運行 (令和3年度及び令和4年度購入) 車両減価償却費等国庫補助適用	結果集約の分析、需要動向や事業の実施状況の把握を指摘されたことを受け、バス利用促進を図るため、バス事業者、市町村、県が参加する区域ごとの地域バス検討会を開催し、関係者間の意見交換や地域ニーズの把握に努めた。また、把握した地域ニーズに合致したバス路線経路、ダイヤ、利用環境の改善に努め、地域の関係者間の連携を図り、利便性の向上に努めた。	A 計画どおり事業は適切に実施された。 ※12/30～1/3年末年始の効率性を目的とした運休を除く	A 1%以上の収支率改善が図られた。 (収支率 R5 59.5% → R7 76.5%) (経常収入 R5:14,664千円→R7:19,006千円)	引き続き安心した利用環境の構築を図り、生産性向上に向けた取組み(オープンデータ、バスマップ・時刻表の作成、ICカードの利用促進、バスの出前事業等)を継続的に行なう。 地域住民へは鉄道駅(甲府駅)や学校(東海高校・甲府城西高校・県立大学)・病院(山梨医大病院)へアクセスすることが出来る利便性が高い路線であることを周知していく。 また、当該路線沿線は人口増加地域であり、若年層へのより一層の周知を行なう。
山梨交通(株) 「甲府駅～十五所～鰍沢(営)」を運行	「甲府駅～十五所～鰍沢(営)」を運行 (令和3年度及び令和4年度購入) 車両減価償却費等国庫補助適用	結果集約の分析、需要動向や事業の実施状況の把握を指摘されたことを受け、バス利用促進を図るため、バス事業者、市町村、県が参加する区域ごとの地域バス検討会を開催し、関係者間の意見交換や地域ニーズの把握に努めた。また、把握した地域ニーズに合致したバス路線経路、ダイヤ、利用環境の改善に努め、地域の関係者間の連携を図り、利便性の向上に努めた。	A 計画どおり事業は適切に実施された。 ※12/30～1/3年末年始の効率性を目的とした運休を除く	A 1%以上の収支率改善が図られた。 (収支率 R5 57.6% → R7 60.0%) (経常収入 R5:39,097千円→R7:41,144千円)	引き続き安心した利用環境の構築を図り、生産性向上に向けた取組み(オープンデータ、バスマップ・時刻表の作成、ICカードの利用促進、バスの出前事業等)を継続的に行なう。 当該路線沿線は鉄道が無い地域であり、地域住民へは鉄道駅(甲府駅)や学校(各高校)へアクセスすることが出来る利便性が高い路線であることを周知していく。

山梨交通(株) 「小笠原下仲町～西野～中央病院」	「小笠原下仲町～西野～中央病院」を運行 (令和3年度及び令和4年度購入) 車両減価償却費等国庫補助適用	結果集約の分析、需要動向や事業の実施状況の把握を指摘されたことを受け、バス利用促進を図るため、バス事業者、市町村、県が参加する区域ごとの地域バス検討会を開催し、関係者間の意見交換や地域ニーズの把握に努めた。また、把握した地域ニーズに合致したバス路線経路、ダイヤ、利用環境の改善に努め、地域の関係者間の連携を図り、利便性の向上に努めた。	A 計画どおり事業は適切に実施された。 ※12/30～1/3年末年始の効率性を目的とした運休を除く	A 1%以上の収支率改善が図られた。 (収支率 R5 62.5% → R7 70.2%) (経常収入 R5: 25,378千円→R7: 28,693千円)	引き続き安心した利用環境の構築を図り、生産性向上に向けた取組み(オープデータ、バスマップ・時刻表の作成、ICカードの利用促進、バスの出前事業等)を継続的に行なう。 当該路線沿線は鉄道が無い地域であり、地域住民へは鉄道駅(甲府駅)や学校(各高校)へアクセスすることが出来る利便性が高い路線であることを周知していく。
山梨交通(株) 「小笠原車庫～十五所～甲府駅」	「小笠原車庫～十五所～甲府駅」を運行 (令和3年度及び令和4年度購入) 車両減価償却費等国庫補助適用	結果集約の分析、需要動向や事業の実施状況の把握を指摘されたことを受け、バス利用促進を図るため、バス事業者、市町村、県が参加する区域ごとの地域バス検討会を開催し、関係者間の意見交換や地域ニーズの把握に努めた。また、把握した地域ニーズに合致したバス路線経路、ダイヤ、利用環境の改善に努め、地域の関係者間の連携を図り、利便性の向上に努めた。	A 計画どおり事業は適切に実施された。 ※12/30～1/3年末年始の効率性を目的とした運休を除く	A 1%以上の収支率改善が図られた。 (収支率 R5 61.1% → R7 70.8%) (経常収入 R5: 12,331千円→R7: 14,120千円)	引き続き安心した利用環境の構築を図り、生産性向上に向けた取組み(オープデータ、バスマップ・時刻表の作成、ICカードの利用促進、バスの出前事業等)を継続的に行なう。 当該路線沿線は鉄道が無い地域であり、地域住民へは鉄道駅(甲府駅)や学校(各高校)へアクセスすることが出来る利便性が高い路線であることを周知していく。
山梨交通(株) 「甲府駅～十五所～フォレストモール富士川」	「甲府駅～十五所～フォレストモール富士川」を運行	結果集約の分析、需要動向や事業の実施状況の把握を指摘されたことを受け、バス利用促進を図るため、バス事業者、市町村、県が参加する区域ごとの地域バス検討会を開催し、関係者間の意見交換や地域ニーズの把握に努めた。また、把握した地域ニーズに合致したバス路線経路、ダイヤ、利用環境の改善に努め、地域の関係者間の連携を図り、利便性の向上に努めた。	A 計画どおり事業は適切に実施された。 ※12/30～1/3年末年始の効率性を目的とした運休を除く	A 1%以上の収支率改善が図られた。 (収支率 R5 70.9% → R7 82.0%) (経常収入 R5: 13,447千円→R7: 15,056千円)	引き続き安心した利用環境の構築を図り、生産性向上に向けた取組み(オープデータ、バスマップ・時刻表の作成、ICカードの利用促進、バスの出前事業等)を継続的に行なう。 当該路線沿線は鉄道が無い地域であり、地域住民へは鉄道駅(甲府駅)や学校(各高校)・ショッピングセンター(フォレストモール)へアクセスすることが出来る利便性が高い路線であることを周知していく。
山梨交通(株) 「韮崎～増富温泉郷」	「韮崎～増富温泉郷」を運行 (令和6年度購入) 車両減価償却費等国庫補助適用	結果集約の分析、需要動向や事業の実施状況の把握を指摘されたことを受け、バス利用促進を図るため、バス事業者、市町村、県が参加する区域ごとの地域バス検討会を開催し、関係者間の意見交換や地域ニーズの把握に努めた。また、把握した地域ニーズに合致したバス路線経路、ダイヤ、利用環境の改善に努め、地域の関係者間の連携を図り、利便性の向上に努めた。	A 計画どおり事業は適切に実施された。 ※12/30～1/3年末年始の効率性を目的とした運休を除く	A 1%以上の収支率改善が図られた。 (収支率 R5 29.0% → R7 31.3%) (経常収入 R5: 21,438千円→R7: 24,103千円)	引き続き安心した利用環境の構築を図り、生産性向上に向けた取組み(オープデータ、バスマップ・時刻表の作成、ICカードの利用促進、バスの出前事業等)を継続的に行なう。 当該路線沿線は鉄道が無い地域であり、地域住民へは鉄道駅(韮崎)や学校(各高校)へアクセスすることが出来るとともに、観光者へは温泉・登山等の観光資源があり、利便性が高い路線であることを周知していく。
山梨交通(株) 「韮崎駅～大草～甲府駅」	「韮崎駅～大草～甲府駅」を運行 (令和6年度購入) 車両減価償却費等国庫補助適用	結果集約の分析、需要動向や事業の実施状況の把握を指摘されたことを受け、バス利用促進を図るため、バス事業者、市町村、県が参加する区域ごとの地域バス検討会を開催し、関係者間の意見交換や地域ニーズの把握に努めた。また、把握した地域ニーズに合致したバス路線経路、ダイヤ、利用環境の改善に努め、地域の関係者間の連携を図り、利便性の向上に努めた。	A 計画どおり事業は適切に実施された。 ※12/30～1/3年末年始の効率性を目的とした運休を除く	B 1%以上の収支率改善が図られなかつた。 (収支率 R5 62.0% → R7 47.2%) (経常収入 R5: 19,874千円→R7: 15,792千円)	引き続き安心した利用環境の構築を図り、生産性向上に向けた取組み(オープデータ、バスマップ・時刻表の作成、ICカードの利用促進、バスの出前事業等)を継続的に行なう。 地域住民へは鉄道駅(甲府駅)や学校(甲府西高校)、観光者へは観光施設(県立美術館)へアクセスすることが出来る利便性が高い路線であることを周知していく。
山梨交通(株) 「韮崎駅～敷島～甲府駅」	「韮崎駅～敷島～甲府駅」を運行 (令和6年度購入) 車両減価償却費等国庫補助適用	結果集約の分析、需要動向や事業の実施状況の把握を指摘されたことを受け、バス利用促進を図るため、バス事業者、市町村、県が参加する区域ごとの地域バス検討会を開催し、関係者間の意見交換や地域ニーズの把握に努めた。また、把握した地域ニーズに合致したバス路線経路、ダイヤ、利用環境の改善に努め、地域の関係者間の連携を図り、利便性の向上に努めた。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	C 1%以上の収支率改善が図られなかつた。 (収支率 R5 41.0% → R7 40.3%) (経常収入 R4: 12,455千円→R7: 12,759千円)	引き続き安心した利用環境の構築を図り、生産性向上に向けた取組み(オープデータ、バスマップ・時刻表の作成、ICカードの利用促進、バスの出前事業等)を継続的に行なう。 地域住民へは鉄道駅(甲府駅・韮崎駅・塩崎駅)や学校(附属小学校、甲府第一高校)へアクセスすることが出来る利便性が高い路線であることを周知していく。